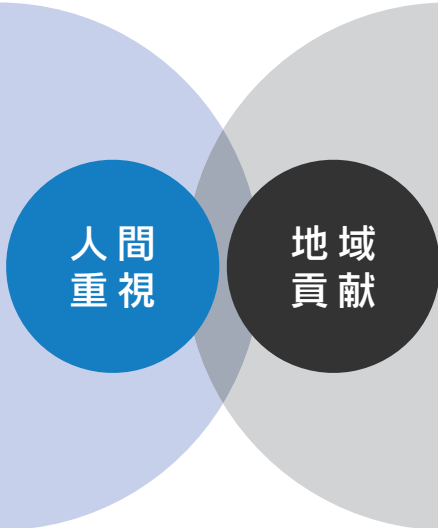


皆さんから寄せられた「市立大学に期待する声」

札幌の新たな個性となる市立大学は、「人間重視」と「地域貢献」の二つを教育理念に掲げています。そうした目指すべき大学像に対し、産業界からの支援表明をはじめ、皆さんから多数の声が寄せられました。「大学が成功するためには、市民に役立ち、広く共感を得ることが大切」という意見もその一つ。明日の札幌を担う人材の育成はもちろん、大学という枠を越えて、街に有形無形の効果をもたらしてほしい、そうした期待の現れではないでしょうか。

※「札幌市立大学設置基本構想」に寄せられた声（106件）を基に構成



- 今後、老人が増える世の中になるのは必然なので、看護の公立大学ができることは望ましい。(30代男性)
- 看護とデザインの連携によって、新しい分野が開拓されれば、障がい者の生活も向上する。(男性)
- 研究に伴う市民への還元として、介護ロボットなどの開発を目指してほしい。(50代男性)
- 札幌から、人に優しいユニバーサルデザインの製品、ひいてはまちづくりを発信してほしいと思う。(50代男性)

- 世界水準の大学を小規模で成し遂げる模範となってほしい。(40代男性)
- 大学が一般市民に開放され、デザインや介護・看護の市民講座が数多く開催されることを願っている。(50代男性)
- 特徴ある大学が、札幌に新産業を生み出す起爆剤となるよう期待したい。(30代男性)
- 芸術の森を中心に、札幌を文化生産都市にするチャンスが生まれるだろう。(50代男性)

「人に優しく」を考えれば、街はもっと豊かになるはず

平岸高校デザインアートコース1年
やまだめい
山田 愛衣さん



将来は、市立大学に入って空間デザインを学びたい。コンクリートに囲まれた街中を、行き交う人により優しい場所に変えていければいいなあ。



いつかの冬 札幌の都心部
歩道に敷き詰められた
凍結防止用のゴムマット
デザインと看護の連携により
人に優しい心地よさが加われば
単なる「用具」ではなく
街の景観に溶け込む
「札幌の個性」の一つに…

「都心部サテライト施設」「大学院」を設置する予定です

サテライト施設

「市民向けの公開講座」や「産学官の共同研究」の場として活用するスペースを都心部に設置する準備を進めています。

大学院

より専門性の高い人材を育成するため、修士課程および博士課程の設置を検討しています。